

下野市立石橋小学校

1 学校課題

自分の考えをもち意欲的に学習に取り組む児童の育成
～対話的な学びを通した深い学びの実現をめざして～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

本校では、一昨年度より国語科に重点を置いて授業改善に取り組んできた。児童の主体的な学びにつながるよう単元構成の見直しを進めたこと、言語活動の設定においては、総合的な学習の時間と国語科の授業を結び付けるなど、児童が目的意識を明確にもって、学習に取り組めるよう工夫してきた。その結果、単元の終末において、できるようになったことを実感している発言や、振り返りを記述することが習慣化されている姿が見られるようになってきたことは成果といえる。また、一人一授業に取り組む中で、新学習指導要領のめざす方向性や、国語科の「読むこと」の構造と系統についての理解がさらに進んだことも収穫であった。しかし、児童の「深い学び」を目指す取組は、まだ十分ではない。そこで、本年度も国語科を中心とした研究を基盤として、その他の教科を含む日頃の授業を充実させ、職員自身が協働的な学び合いを展開できるよう授業研究を推進していく。

(2) 研究の仮説

- ① 子供たちの学びの質に着目し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を学校全体で共有し、その位置付けを明確にすれば、授業改善が活性化し、意欲的に学習に取り組む児童の育成につながるであろう。
- ② 分からないことやできないこと、間違えることを受け入れられる学級集団であれば、児童が安心して自分の考えや「問い」をもち、意欲的に学習に取り組めるであろう。
- ③ 思考力、判断力、表現力等を育む言語活動の充実を図れば、自ら考え、豊かに表現しようとする態度を養い、豊かに学び合う集団が育つであろう。

3 研究内容

(1) 研究の方法

- ① 説明的文章を中心に学校課題追究のため、授業改善の視点を絞って研究に取り組む。
- ② 低学年・中学年・高学年の3つの部会を設け、児童の発達の段階に応じた授業実践を行う。
- ③ 昨年度末の学力調査、とちぎっ子学習状況調査の調査問題の分析を実施し、学年ごとの課題を設定する。
- ④ 共有された授業改善の視点を基に、教師一人一人が日々の授業の質を高めるために、各自が、研究授業を年間1回公開する。
- ⑤ 授業研究会において
 - ・ S&Uコラボ事業・市要請訪問を活用し、外部指導者の指導を受ける。
 - ・ 外部講師を招く授業は、ブロックでの指導案検討や学年で事前授業を行い、授業研究会の質を高める。
 - ・ 研究授業の参観では、見取る児童を分担し、一人一人の児童をていねいに見取る。
 - ・ 授業後の協議は、授業者が設定した授業の視点を基に話し合う。小集団で自由に話し合える雰囲気作りを心掛け、グループ発表を行い全体で意見を共有する。

(2) 研究授業を通じた主題への取組

月日	学年	単元名	課題追究のための手立て等
9/7	1年	国語 「うみのかくれんぼ」	・児童個人の考えを深めるためのペアで自分の考えを伝え合う活動 ・説明の工夫を見付けさせるための教科書本文の色分け
10/26	5年	国語 「固有種が教えてくれること」	・児童が自分の考えを書くための「十分満足できる状況」(書くポイント)の提示 ・児童各自が考えをもつことのできるための小グループでの交流
12/7	3年	国語 「ありの行列」	・児童各自が考えをもち深めるための小グループで伝え合う活動 ・一人一人が構成を捉えるための ICT を使った並べ替え

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 昨年度の学力調査、本年度のとちぎっ子学習状況調査の分析の結果、各教科とも記述式の問題に無回答が多いことが分かった。それを踏まえて研修を行い、全校体制で「書く」ことの指導を行った。国語の授業の初めや、業間の「ことばプラス」の時間を活用して継続して指導してきた。作文 1000 本ノックや描写の指導等を続けることにより、児童の書くことへの抵抗感が薄まり、楽しんで作文に取り組めるようになった。
- ② 説明文で読み取ったことを生かして自分の表現へ結び付けるよう、単元構成を工夫した。単元のゴールに児童各自の表現活動をおいた。ゴールまでを見通せることにより、児童がより主体的に活動できるようになった。
- ③ 対話的で深い学びをめざし、ペア学習や少人数グループでの意見交換の場を設定した。より深く話し合うために、話し合う観点の提示のしかた、ワークシートや ICT 機器の使い方等を工夫してきた。自分の考えを発表するだけでなく、友達の意見を聞いて自分の考えと比べ、共感したり相違点を話し合ったりする活動ができるようになってきた。

(2) 研究の課題

- ① 国語科での成果は見えてきたが、他教科での表現活動での成果はまだ見えてこない。算数科での根拠を明確にした説明や、理科での分かったことから自分の言葉で考察をまとめる活動など、国語科で培った表現方法を他教科でも生かせるようにしたい。

